



次世代に伝え、残そう 美しい里山・森林



小野 美沙子

Konno Misako

女優。東京生まれ。慶應義塾大学卒。「武田信玄」「HOTEL」「細雪」ほか、多数のドラマ・映画・舞台に活躍。1998年、国連開発計画（UNDP）親善大使に就任。国際協力の分野で活動中、環境に関心を持つ。美しい山村づくり全国推進会議の発起人。

の木材をぜひ使いたいですね。

私には中学2年になる一人息子がいます。山遊びや川遊び、自然が大好きな子です。「子どもは森で育つ」と北欧ではいます。自然の中、五感を働かせ、思いきり遊んでほしいと願って、小さな森がある幼稚園に入学させました。それ以外のずと自然が好きになったのではと思っています。

森林は自然を、人間を、命をはぐくむ場所でもあります。その魅力、大切さは、子どものうちからしっかり教えることが大切です。しかも机上でなく、里山、森林の現場で、そこに暮らす人や働いている人から学ぶことができれば、どんなにいいでしょう。里山、山村、森林を守る人たちは、地道な作業を毎日積み重ねています。華やかではないけれど、何よりも大切な仕事です。森林の素晴らしさを子どもたちに伝え、残していくためにも、頑張つてほしいと思います。

日本は森林が多く国土の7割を占めています。森が元気でないと海も元気にはなりません。地球温暖化の問題にもかかわってきます。

開発途上国の国づくりや人づくりを支援する国連開発計画（UNDP）の親善大使として、これまで8つの国と地域を訪問しました。生計のためにどんどん森林を伐採して輸出している国がある一方で、ブータン王国は森林面積を増やし、環境を大切にしようと取り組んでいます。とても感心させられました。

日本でも、森をきちんと手入れをしないと健康な森には育たないとか、景観を

守ろうとか、環境問題に関心を持つ人が増えてきたのではないのでしょうか。だからこそいま、もっともつと森林や自然を守るための応援を増やしていく国民的な運動が必要だと思っています。

木に囲まれていると、なぜかホッとします。よわいを重ねるほど、木造の建築物とか、日本の伝統的なものとかに心が向くようになりました。最近、購入していいなと感じたのは、ご飯用の漆器。陶器より軽いですし、扱いやすく、ご飯のぬくもりも伝わってきます。木の文化を感じます。また将来、家を建て替えるときは、使えば使うほど味が出てくる国産